

由布市民憲章

— みんなの誓い —

私たち由布市民は
みんなの幸せのために、
四つの誓いを果たすことに
努めましょう。

〔感謝と使命〕

- 一・豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

〔融和と郷土愛〕

- 一・郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

〔平等と仁愛〕

- 一・一人ひとりの人権を尊重し子どもやお年寄りを
大切にするあたたかいまちをつくります

〔協働と希望〕

- 一・地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります



より戦略的なまちづくりに向けた第二次由布市総合計画

「第二次由布市総合計画」とは、地方自治体を持つ、最も基本的で、最上位に位置づけられる計画です。
今後10年間に於ける由布市のまちづくり、行政運営の目標や基本理念、施策の体系等を定めるものです。

由布市は、平成17年10月1日に挾間町、庄内町、湯布院町の合併により誕生しました。それから10年が経過したことを受けて、これまで由布市のまちづくりの羅針盤であった「第一次由布市総合計画」を引き継ぎ、これからの10年のまちづくりに向けて「第二次由布市総合計画」を策定しました。

第二次由布市総合計画の策定に際しては、我が国全体が迎えている**人口減少、少子高齢化、グローバルゼーション**といった社会動向を踏まえて、これまでよりも、より一層市民の皆様の満足度を高め、来訪者の皆様に評価していただける由布市を目指して、**戦略的で意志のある計画策定**を目標としました。

そのため、総合計画の構成についても、由布市が今後10年間にわたって進めるまちづくりの目標や基本理念、施策の体系を示した「**基本構想**」（別冊）と、その中で由布市が今後5年間に特に重点的に取り組む重点プロジェクトについて、その目標や推進体制、取り組みステップ等を示した「**重点戦略プラン**」（本書）、今後3年間の由布市の事務・事業計画を示した「**実施計画**（別冊）」の三部構成とし、由布市のまちづくりの方向性をより明確に示すようにしました。

また、策定にあたっては、市民アンケートの実施や各地区で市政懇談会を開催するとともに、市民の皆様と市職員による検討ワーキングや市民代表者による審議会を設置し、市民の皆様とともに計画内容について検討を進めてきました。この「第二次由布市総合計画（重点戦略プラン）」は、「第二次由布市総合計画（基本構想）」と一体となって、今後の由布市の**まちづくりの指針**を示すものです。今後、これらの計画に基づき、市民、企業の皆様のみならず地域外の協力者の皆様とともに由布市のまちづくりに取り組んでいきます。

第二次由布市総合計画



※「基本構想」と「実施計画」については、別冊になるため、本書には掲載されておりません。



用語解説

【グローバルゼーション】

人、モノ、カネ、情報などが国の枠組みを超えて活発に移動し、政治・経済・文化の活動が世界規模で拡大することをいう。

重点戦略プランは、以下に掲げるまちづくりの目標のもと、基本構想の6つの項目それぞれに対応しています。各プロジェクトの実施にあたっては、既存の課や組織を横断的に取り組むものとして設定しています。

まちづくりの目標

地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市

基本構想の6つの項目

みんなで進める！
持続可能なまちづくり

一人ひとりの
力を活かせるまちづくり

人や文化を育む
まちづくり

経済の循環から
地域が潤うまちづくり

豊かな環境の中で快適な暮らしが
実感できるまちづくり

地域を知り、
表現するまちづくり

重点戦略プラン

プラン1 地域防災力強化プロジェクト

プラン2 みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト

プラン3 “市民が主体!!”コミュニティ活性化プロジェクト

プラン4 地域へ飛び出せ！健康マイレージプロジェクト

プラン5 子どもたちを包み込む支えあい・助けあいプロジェクト

プラン6 『由布の学び』創造プロジェクト

プラン7 食からはじめる健康づくり。食と農の再発見プロジェクト

プラン8 次世代につなげよう、持続可能な仕事づくりプロジェクト

プラン9 滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト

プラン10 民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト

プラン11 由布ならではの移住・定住プロジェクト

プラン12 地域プロモーション推進プロジェクト

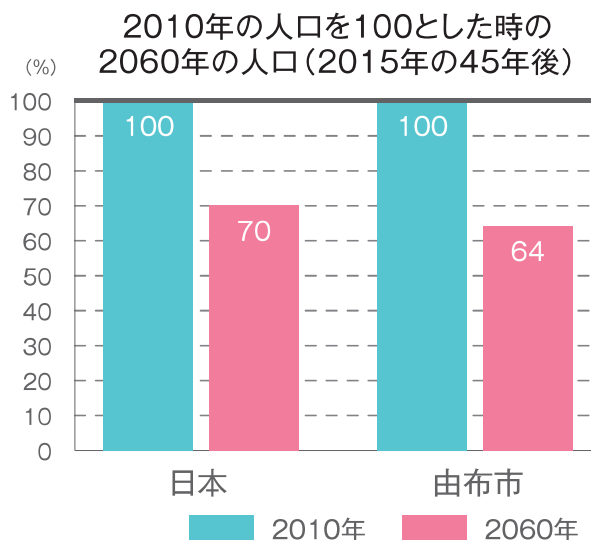
プラン13 ゆふツーリズム推進プロジェクト

重点戦略プランの実行にあたって～まちづくりの課題

1 全国平均を上回る人口減少予測

本市には、まちづくりに活かしたい資源や強みが豊富にある一方で、今後の人口動向に関しては減少傾向で推移していくことが予測されています。

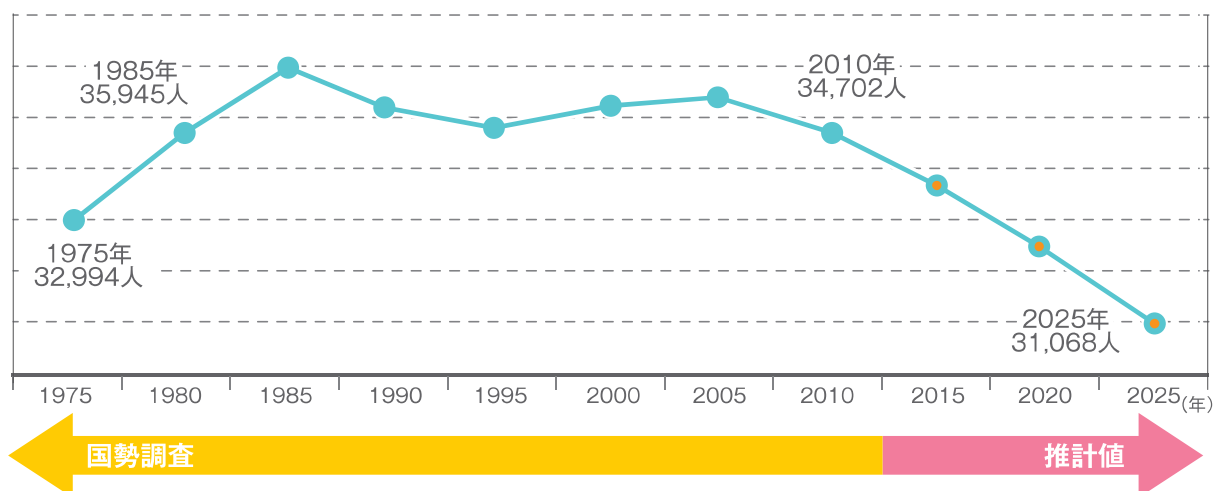
長期的な人口推移では、2060年に日本の総人口は現在の約70%、本市は現在の約64%（21,475人）になると予測されており、本市は全国平均を上回る減少が見込まれています。（人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が公表した「日本の将来推計人口（2012年1月中位推計）」によります。）



2 人口減少が本格化するこれからの10年

本計画の終了年である10年後、平成37年（2025年）の人口は、31,068人と予測されています。2005年から2015年までの10年間で減少率が4.9%である一方で、2015年から2025年までの減少率は10.5%となっており、今後本市においても人口減少が本格化することが見込まれています。持続的なまちづくりを行うにあたって、人口減少社会に対応した適切な土地利用も重要です。由布市都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、施策を実施していきます。

2025年までの人口推計



用語解説

【都市計画マスタープラン】

都市計画法に基づく、市町村の都市計画に関する基本的な方針のこと。

そして、まちづくりに活かしたい資源・強み～

3 まちづくりに活かしたい由布市の強み

人口減少社会が予想される中でも、まちづくりの目標の実現に向け、以下の強みを効果的に活かしながら取り組めます。



豊かな自然環境、
水資源、温泉



農林畜産業と
伝統文化の継承



道路・鉄道等による
交通利便性



充実した医療・福祉施設



我が国屈指の観光地



質の高い住環境

4 まちづくりの基本理念と人口目標

「まちづくりの目標」の実現に向けた取り組み姿勢である基本理念を以下のように設定し、13の重点戦略プランを実行していきます。

「連携」と「協働」 「創造」と「循環」

本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、

「平成37年(2025年)の将来計画人口**32,000人**」

を目指します。